

別記様式第 2 号

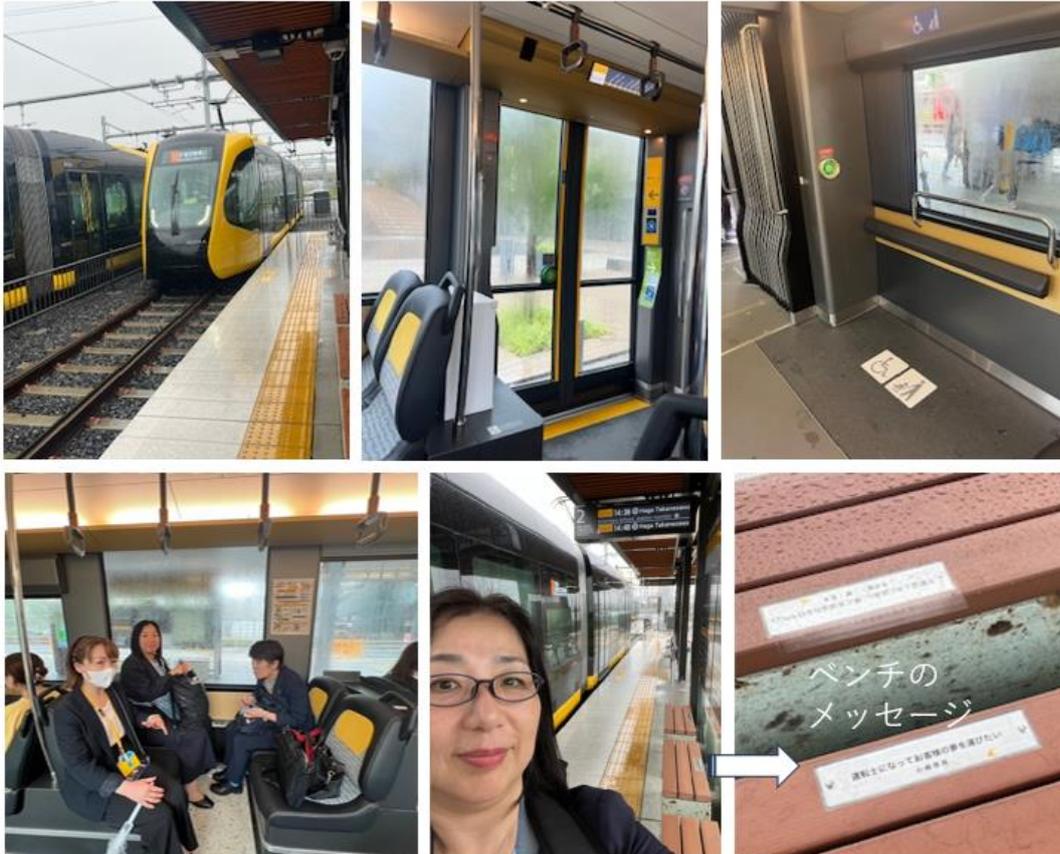
令和 6 年 5 月 31 日

調 査 報 告 書	(会派の場合) 会派の名称												
	代表者氏名												
	(会派以外の場合) 議員氏名 星 加代子												
参加議員	<table border="0"> <tr> <td>星 加代子</td> <td>議員</td> <td>議員</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>議員</td> <td>議員</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>議員</td> <td>議員</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>議員</td> <td>議員</td> </tr> </table>	星 加代子	議員	議員	_____	議員	議員	_____	議員	議員	_____	議員	議員
星 加代子	議員	議員											
_____	議員	議員											
_____	議員	議員											
_____	議員	議員											
日 程	令和 6 年 5 月 13 日 (月) ～ 令和 6 年 5 月 14 日 (火)												
視 察 先	(1) 宇都宮ライトレール株式会社 (宇都宮市) (2) Kanuma commons (栃木県鹿沼市) (3) 運転免許 つばさプラン®全国研究会 (栃木県鹿沼市)												
視察目的 (項目)	(1) 公共交通宇都宮 L R T の課題とあり方について調査研究 (2) UR 都市機構が鹿沼市と締結した拠点施設の調査研究 (3) 発達障害の方の特性に対応した運転免許プランの調査研究												
【調査内容・概要】													
1. 宇都宮ライトレール株式会社 (宇都宮市) ネットワーク型コンパクトシティ構想の中で作られた宇都宮市と栃木県芳賀町を結ぶ芳賀・宇都宮 LRT (宇都宮 LRT、ライトライン)。2023 年 8 月の開業から約 8 ヶ月で累計乗客数 300 万人を達成し初年度から予想を上回る好調ぶりとのこと。 この LRT とは、ライト・レール・トランジットの略。宇都宮駅から学校、企業 (工場)、商業地域などを結ぶ路面電車だ。5 つのトランジットセンターにはバス乗り場、無料の駐車場があり、宇都宮駅までの渋滞緩和に効果を見せている。芳賀町には本田技研工業、キヤノンはじめ、工業団地があり、それまでは自社の送迎バスや公共バスを利用していたため、企業側としては LRT 利用によってコストダウンとなった。通勤時間も車・バス利用では片道 1 時間半程度かかっていたものが、LRT 利用で 44 分と、利用者にとっても利便性が高い。 現在は宇都宮駅から東への路線のみだが、今後、宇都宮駅西口から先への延伸も計													

画されており、東西の往来も活発になる見込みだ。また、トランジットセンターを中心に商業施設や観光拠点を創出するとのこと。

車両はヨーロッパの電車を思わせるモダンなデザインで、かつバリアフリー。車いすでもスロープを使用せずそのまま乗り込むことが可能。高齢者用のシートは柔らかく、つり革はどこを握ってもつかみやすいように設計されている。

停留場にあるベンチは寄付でメッセージと名入りで設置されており、地元の方からの期待を感じた。



芳賀・宇都宮 LRT 公式ホームページより (<https://u-movenext.net/about/>)

2. Kanuma commons (栃木県鹿沼市)

kanuma commons(カヌマ コモンズ)は、鹿沼市と都市再生機構 (UR) がまちづくりに関する連携協定を結び、鹿沼市街地の銀座通りに面する元・呉服店「板屋ビルディング」を拠点としてリノベーションした空間。この通りはかつてメインストリートだったが、いまでは空き店舗も目立つ。

kanuma commons は会員制で、小商いにチャレンジしてみたいと思った個人や企業がさまざまなトライアルをすることができる。1階はスタンド(売店)になっており、学校給食パン工房が直営するパン屋が入っていた。1日利用3000円、1か月利用3万円で借りることができ、共同のキッチンもある。2階は会員の仲間と集えるラウンジスペース。電源、Wi-Fiが使えるのでリモートワークのほか、バーカウンター、大型ディスプレイや大型スピーカーもあるので、音楽を絡めたイベント企画なども可能だ。学生は会費無料、鹿沼市民だけでなく鹿沼市外から会員になることもできるので、町の活性化の一助にもなりそうだ。

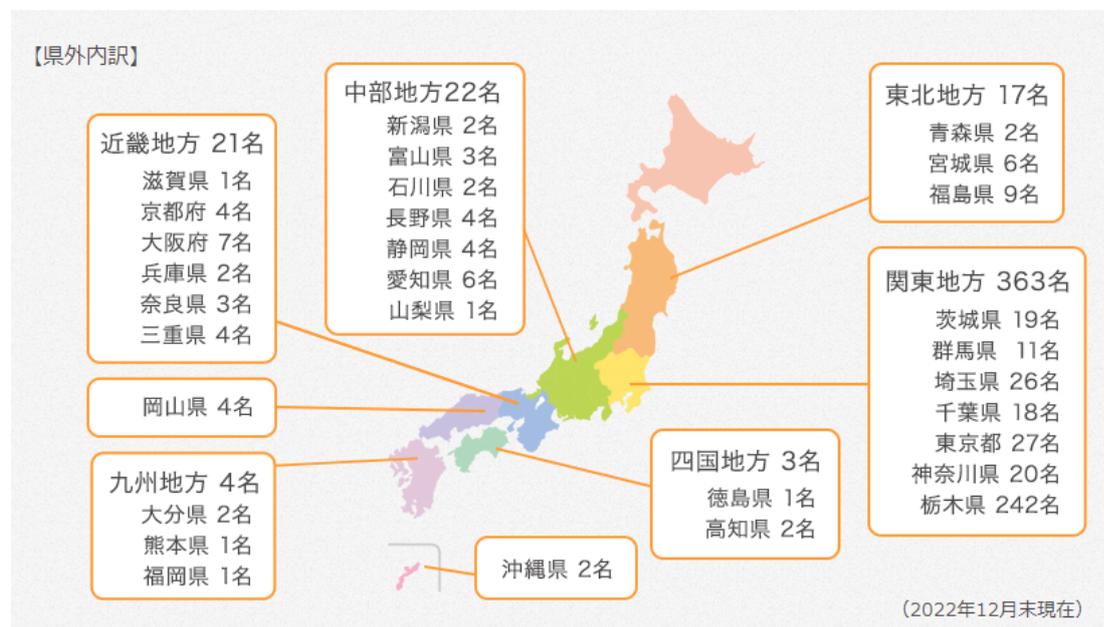


3. 運転免許 つばさプラン®全国研究会 (栃木県鹿沼市)

鹿沼自動車教習所の古澤社長と宇都宮大学の共同研究事業として、発達障害者の免許取得についてのプログラムを研究して発足。落ち着きがない、予約を取るのが苦手、学習に時間がかかる、などそれぞれの特性にあわせて専門のトレーニングを受けた指導員が根気強く免許取得までの教習をサポートする。苦手を克服し、運転免許を取得することにより発達障害により不登校や引きこもりになって孤立していた人も自信が付き、社会に出る一助にもなっている。これまでつばさプランによる

免許取得者は全国で年間約 200 名。全国につばさプランのパイロット事業を展開する教習所が広がり、神奈川県では横浜の Koyama Driving School で実施している。事前に家族（保護者）同伴で面接をしてから入校するため 95%は免許取得できている。料金は通常の教習料金よりも高めだが、自治体によっては障害のある方の免許取得に補助金がでる。

参考：東京都世田谷区 自動車運転免許取得費の助成
<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/002/010/d00031063.html>



つばさプラン全国研究会 公式ホームページより
<https://www.tsubasaplan-kenkyukai.com/blank-2>